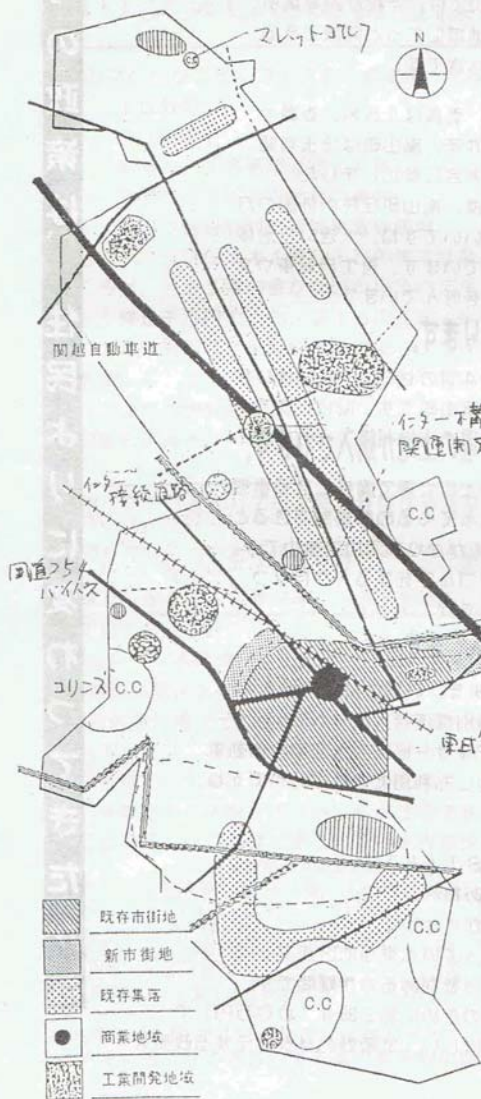


嵐山町総合振興計画土地利用構想図



嵐山町の面積は、2985 $\frac{1}{2}$ 。

☆ 道路が大幅に増え、自動車には便利になります。
駅西口を歩く人にとって、歩道もないような危険な状態はこれで、解決に向かえるでしょうか。

☆ 関越自動車道インターチェンジの建設が予定されています。インターチェンジ周辺をインター構想関連開発地域と定めて、民間シンクタンクに開発計画の調査をゆだねます。

☆ 今から10年たったとき嵐山町は、人口2万8千人、世帯数9000世帯になるような土地利用計画です。

都市化が進み、緑がなくなり河川の拡幅工事で川の土手が広がります。遊び場は増えるけれど、川本来の風景や、生物は、失われるのでは。

	平成5	平成17
農地	25.0%	20.7%
森林	34.4%	30.2%
河川等	4.6%	4.8%
道路	10.2%	12.5%
宅地	12.6%	18.1%
その他	13.2%	13.8%

談合・談合・予定価格がもれているのでは??

ビル、道路等設計する力がない市町村の公共施設工事は、設計業者が、工事業者に工事価格を知らせ、談合のくいものになっているという疑いをもっています。役場庁舎の設計業者と、健康増進センターの設計業者が同じためか、工事請負業者もほとんど同じです。

	役場庁舎		健康増進センター	
	請負業者	請負金額	請負業者	請負金額
設計	石本建築事務所	2420万円	石本建築事務所	206万円
建設	東急・伊田特定	13億1840	鹿島・寄居特定	2億2660
	建設工事共同企業体	万円	建設工事共同企業体	万円
電気	関電工・山東特定	3億6462	関電工・山東特定	5253万円
	建設工事共同企業体	万円	建設工事共同企業体	万円
設備	高砂・松原特定建設	3億9964	高砂・松原特定建設	7725万円
	工事共同企業体	万円	工事共同企業体	万円

鹿島建設は、コリス・ゴルフ場の造成工事者です。コリスの進入路工事も鹿島建設。町道1-12号線拡幅工事として、町がゴルフ場進入路工事を請負ました。金はコリスがだしました。形だけは、町道工事ですから、指名入札で、鹿島建設が落札。町道1-12号線の水道工事も、形だけは指名入札で鹿島建設が落札。鹿島建設は平成4年、5年で、町道1-12号線工事を行って、次は、志賀にできた環境衛生センターの造成工事を行っていました。今年春、環境衛生センターが完成し、次は、健康増進センターの建設。タイミングよく嵐山町で仕事をしています。

埼玉県の工事に関しては談合監視が強くなっているため、談合への監視能力、防止能力のない町村で公共施設建設は談合して行っているのでは???

設計業者が、建設業者に、建設価格を知らせると、その見返りをして、建設価格の3%が支払われるといいます。その金はどう使われるのでしょうか???

公共施設が住民主導でなく、建設業者主導でつくられていくことにもなります。

嵐山町の公共施設の工事の予定は、町民会館、新しい役場への進入道路、コミュニティセンター、インターチェンジ関連事業等、あります。



小さい自治体には、設計する力、工事を監視する力はありません。小さな自治体が、共同で建築設計、工事監視の企業体をつくるべきなのではないでしょうか。これからの課題です。